

令和7年度 八代市立第四中学校経営の構想（グランドデザイン）

校訓 「優しく 正しく 遅しく」

学校教育目標

「夢と志をもち、自ら正しく判断し行動できる、遅しい生徒の育成」

スローガン ～互いに認め支え合い、安心して笑顔で過ごせる学校をめざして～

めざす学校像

- ◇互いに認め支え合う学校
 - ・共感し合う生徒と教職員
 - ・高い信頼関係の構築
- ◇安心して笑顔で過ごせる学校
 - ・全員が四中の一員として自己実現と居場所を感じられる
- ◇地域と共にある学校
 - ・保護者・地域との連携
 - ・四中生であることへの誇り

めざす生徒像

- ◇「優しく」：自他を敬愛し、支え合い、励まし合い、尊敬と感謝の心をもった生徒
- ◇「正しく」：礼節を重んじ互いの正義を認め合い、学び合い、高め合える生徒
- ◇「遅しく」：自らを律し、夢実現に向かい果敢に挑戦し続けることができる生徒

めざす職員像

- ◇生徒と共に歩む教師
 - ・豊かな感性と確かな人権感覚
 - ・生徒理解と適切な助言
- ◇よりよい環境を創る教師
 - ・心を耕す言語環境や掲示
 - ・生徒との良好な人間関係
 - ・保護者や地域との連携
- ◇生徒が主体的に活動する場を創る教師
 - ・生徒の活動時間を確保する授業改善
 - ・生徒の主体的な活動を促す行事や活躍の場
 - ・認め、ほめ、励まし、鍛え、伸ばす評価

重点的に育成を目指す資質・能力

自他を認め合い支え合う力

自ら正しく判断し行動する力

夢に向かい挑戦し続ける力

今年度の取組の重点

豊かな心の育成

- 互いのよさに気づき、伝え合う継続的な活動
 - ・自己肯定感を高める声かけ
 - ・エンカウターの手法
- 互いの夢や志を語り合い、認め合う活動
 - ・考え議論する道德教育
 - ・人権学習の充実
- 生徒が主体的に活動し、自己有用感を高める活動
 - ・全員に活躍の場があり、互いを認め高め会える行事
 - ・主体的な生徒会活動の推進

確かな学力の育成

- 分かる授業への工夫・改善
 - ・「学力向上やつしろプラン」の実践
 - ・「授業改善ステップワン」の推進
 - ・「四中授業モデル」の確立
 - ・UDと応用行動分析を用いた支援
- 学習内容の定着と意欲の向上
 - ・学習の自覚化を図る振り返りの工夫
 - ・家庭学習への取組の工夫と質の向上
 - ・小中連携の取組と授業研究会
- 課題克服対策の着実な実施
 - ・学力向上検証サイクルの活用
 - ・全職員での結果分析と対策
 - ・過去問等の授業での活用

積極的な生徒指導の実践

- 基本的生活習慣と学習規律の確立
 - ・家庭への情報発信と連携
 - ・委員会活動の工夫
 - ・やつしろスピリッツの徹底
- いじめや不登校の未然防止
 - ・「不登校対策やつしろプラン」の充実
 - ・相談活動やアンケートの充実
 - ・対策委員会と組織的対応の充実
 - ・「愛の1・2・3運動+1」の実践
- 安心・安全な風土づくり
 - ・自治的活動の充実と改善
 - ・校内教育支援センターの活用
 - ・よりよい愛言葉やつしろの実践

学校運営協議会の推進及び家庭・地域との連携

◇積極的な情報発信

- ・四中生のよさや頑張りを伝える

◇地域と共にある学校

- ・地域行事や会合への参加

◇信頼関係・共育関係の構築

- ・課題の共有とサポート体制づくり